



# 株式会社アインホールディングス 様

既存テレビ会議システムではできなかった  
20拠点の多地点接続をV-CUBE Boxで実現



会議の頻度が格段にアップ  
コミュニケーションが**活発化**

導入決定から機材の手配、設置まで  
**2週間かからず**に完了

誰でも使える簡単操作だから  
使用方法の**問い合わせが減少**

## VV V-CUBE Box

アインホールディングスが30台導入した「V-CUBE Box」とは？

従来のシステムに比べ1/3のコストで導入できるテレビ会議システム。簡単リモコンで操作性が高く、最大100拠点以上接続可能。既存のテレビ会議システムやWeb会議サービスとも連携できる。

## Corporate Data

株式会社アインホールディングス

本社は北海道。アイン薬局など、調剤薬局・ドラッグストア・医薬流通サービスのアイングループの企画・管理・運営を行う。調剤薬局903店舗、ドラッグストア52店舗(2016年8月末)を展開し、調剤薬局業界での売上No1。

### ■事業内容

調剤薬局・ドラッグストアの経営、ジェネリック医薬品の卸売販売、化粧品の販売など、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営。

### ■URL

<http://www.ainj.co.jp/>

# テレビ会議システムのリプレースで 多地点接続にこだわりV-CUBE Boxを選定

調剤薬局業界での売上No.1を誇る株式会社アインホールディングスは、積極的なM&Aでグループ企業や支店、店舗を急拡大している。10年前に導入していたテレビ会議システム更改時期を迎えていた同社では、「既存システムの最新版」「海外製の安価なテレビ会議システム」とともに「V-CUBE Box」を比較。本支店だけで20拠点を持つ同社では、MCUなしでの100拠点以上接続が可能なが決め手となり「V-CUBE Box」を選定した。

## テレビ会議システム導入における課題

1

20拠点同時接続は  
MCUのコストが壁

MCUを持っていない拠点が会議を主催する場合、MCUを持っている拠点へ電話で連絡し、接続依頼する必要があった。

2

ハードウェアの  
管理が大変

拠点は全国にあるが、札幌、東京などの一部拠点のシステム管理者では管理が大変。

3

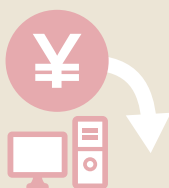
海外製品は  
サポートに不安

多地点接続をうたった安価な海外ベンダ製品もあったが、故障時のサポートが不十分だった。

## V-CUBE Boxでこう解決!!

### MCUはクラウド上にあるため 拠点にMCUが不要

「V-CUBE Box」はクラウド上にMCUがあるため、すべての拠点が複数拠点接続テレビ会議を主催設定できる。



既存テレビ会議システムのMCUは、最大10拠点までしか接続できなかった。拠点数を増やすには高額なMCUを導入しなければならなかったが、「V-CUBE Box」は最大100拠点以上の多地点接続をMCU不要で実現できる。

### バージョンアップも 日々クラウド側で実行

システム管理者の数が限られていても、ファームウェアのバージョンアップ作業が不要。



各拠点にシステム管理者が外向いて、ファームウェアのアップデートを行うのは非現実的であったが、「V-CUBE Box」であれば、自動的にクラウド側で常に対応してもらえる。

### 24時間対応の サポートセンターで安心

周辺機器も含めてブイキューブがワンストップで提供できたので、いざという時にも安心。



海外ベンダの製品は、販売代理店はあるものの、故障時の対応などは自社で行わなければならない、国内メーカーによる安心感を重視。

## Point of Selection

# V-CUBE Box選定のポイントは？

### 多地点接続が安価にできるか？

高価なMCUを導入せずに、現在の拠点接続はもちろん、拠点数増にも対応できる。

✓ クラウドMCUのため、高額な資産を持つことなく100拠点以上の接続が可能。

✓ 本体・MCUのバージョンアップはクラウド側で行うため、今まで全国個々の端末で行っていたバージョンアップ等の管理業務も不要。

### どの拠点からも多地点接続ができるか？

MCUを持つ拠点からだけでなく、すべての拠点が主導となって会議開催できる。

✓ 多拠点接続ができない端末は、2拠点間会議の開催しか設定できなかったが、「V-CUBE Box」はすべての拠点・すべての端末で会議が開催可能。

✓ どこからでも会議開催できるため、会議の頻度が上がり、コミュニケーションが円滑化。

### 誰でも簡単に使えるか？

円滑なコミュニケーションのために、機械が苦手な社員でも迷わずに使用できる。

✓ リモコンによる「①電源・LANケーブルを接続、②電源投入、③リモコンで「会議スタート」を選択、④予約した会議室に入室」の4動作で、誰でも簡単に会議を開催可能。

✓ テレビ会議システムを利用したことのある人であれば、直観的に使いこなせる。

## Users Voice

# 20拠点30台の導入決定から実稼働まで2週間以内の短期間導入



従来のテレビ会議システムの更改時期を迎え、より良い製品を求めていた為、製品選定の期間は2年以上かけていました。1つ目の選択肢は、既存国内システムベンダの製品を買い替えるというもの。2つ目は安価な海外ベンダ製品でコスト削減を図るというもの。3つ目が「V-CUBE Box」でした。

本社、拠点間ではテレビ会議システムを活用していましたが、拠点や店舗間では「V-CUBE ミーティング」によるWeb会議を併用していた流れで「V-CUBE Box」の提案を受けた中、もっとも重視したのが20か所の本社が同時接続できるという点です。MCU導入はコスト的・物理的に難しかった中、MCUフリーで100拠点以上接続は大きな魅力でした。海外ベンダの製品は、当時最大15拠点接続が可能で、年内に最大25台接続可能になるという話ではありましたが、具体的なリリースタイミングもわからず、サポートにも不安を感じていました。

実際に導入にゴーサインを出したのが2016年4月18日。機器のセッティングなども含めて、5月2日の社長期初講話を稼働開始に全拠点接続を行い、V-CUBE Boxでのテレビ会議システム稼働を開始しました。

株式会社アインホールディングス 業務サポート本部 情報システム部 情報システム課 係長 **菅 健伸氏**

私はテレビ会議システムについての問い合わせ窓口を担当しています。通常、新しいシステムにすると、操作方法などの問い合わせが一時的に増えるものですが、リプレースしても操作性に関する問い合わせはほとんど入りません。

以前は、札幌と東京の10拠点接続できる親機同士をつなげて、その下に他拠点をぶら下げる形の運用をしていましたが、会議前に携帯電話で連絡を取り合い「東京側ではこの拠点と、この拠点」「札幌側ではこの拠点」というように接続拠点を相談し手間がかかった上、結果として接続が漏れている拠点が合ったこともありました。現在は、どの拠点からでも会議開催できるので、コミュニケーションが圧倒的に盛んになったと思います。

株式会社アインホールディングス 業務サポート本部 情報システム部 情報システム課 **星 湧氏**



# アインホールディングスでのV-CUBE Box 活用例

アインホールディングスでは、本社・各拠点とのコミュニケーションにはテレビ会議システムを、拠点と店舗間ではWeb会議「V-CUBE ミーティング」を活用している。

## ご導入された製品、ライセンス

V-CUBE Box 大会議室モデル 16台、中会議室モデル 4台、小会議室モデル 10台

V-CUBE Box ライセンス、V-CUBE One ライセンス

※カメラ、マイクなどの周辺機器も、バイキューブで一括して選定



会議室のサイズにあわせたV-CUBE Boxを設置



会議室の予約状況に合わせてキャスターでの移動も可能



テレビ会議開催は、社内グループウェア上で管理。



2016年8月現在

## アインホールディングス様がV-CUBE Box 共に利用している周辺機器(カメラ、マイク・スピーカー)

### V-CUBE Box 大会議室モデル



Logicool PTZ Pro

YAMAHA YVC-1000

### V-CUBE Box 中会議室モデル



AVER VC520

### V-CUBE Box 小会議室モデル



Logicool Webcam C930e

Jabra Speak 410



V-CUBE

株式会社バイキューブ

〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-1-1 中目黒GTタワー20F

URL: <https://jp.vcube.com> Tel.03-5768-3307

※「V-CUBE」は株式会社バイキューブの登録商標です。

※その他、本カタログに記載されている商品名、製品名は各社の商標または登録商標です。

2016I-5000